

令和5年度 事業報告

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の影響が残る1年でした。

幸い感染した会員並びに事務局職員に重篤者はなく、業務も停止することなく運営することができました。しかしながら、経済状況は好転とまではいかず、就業時間の短縮や契約解除などによる就業機会の減少も続きました。

事業高は、請負・委任が横ばい、派遣が前年度比22.7%増となり、全事業では前年度より約2,800万円増の7億2,000万円となり、目標の6億8,000万円を上回りました。

会員数では、新入会員数を増やすため、入会説明会の開催回数を増やすとともに、出前入会説明会を3回開催しました。知名度アップに向けては、翔アップの全戸配布や出前入会説明会前に地区への開催周知チラシを配布しました。これにより前年度より33人増の2,273人となり、目標の2,300人に大きく近づきました。

就業率においても81%と僅かですが目標の80%を上回りました。

安全面では、傷害事故件数が前年度より4件増の18件となり倍増し、うち自転車事故は3件増の5件となりました。賠償事故件数も前年度より1件増の9件となり、全体として事故が増えています。

センター及び地区での各種取り組みについても、積極的に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、「事業高」、「会員数」、「就業率」の3つの目標のうち、「事業高」と「就業率」が目標を上回ることができました。これは会員の皆様の頑張りとお力の賜物です。

1. 事業実績

(1) 事業高

請負・委任の事業高

体育館の受付が2館、市の施設受付が1件の増となり、民間事業所からの仕事の増加や新規受注が一定の増加を示しました。一方で、依然として事業所の契約終了や仕事の減なども続いています。その結果、請負・委任の事業高としては、5億9,100万円となり、前年度比100.7%、約400万円の増となりました。

事業種別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比	
公共事業	196,271,395 円	138,879,361 円	138,667,724 円	▲211,637 円	99.8 %
民間事業	377,141,662 円	377,157,257 円	383,378,511 円	6,221,254 円	101.6 %
一般家庭	72,078,146 円	69,505,480 円	67,351,968 円	▲2,153,512 円	96.9 %
独自事業	1,034,058 円	2,095,289 円	2,334,223 円	238,934 円	111.4 %
合 計	646,525,261 円	587,637,387 円	591,732,426 円	4,095,039 円	100.7 %

一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

請負から派遣への移行もあり、事業高は1億2,800万円となり、前年度比122.7%、約2,300万円の増となりました。また、就業実人員は184人で前年度より35人の増、就業延人員は23,659人で3,424人の増となりました。

派遣事業	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比		
事業高	94,962,352 円	104,783,000 円	128,518,388 円	23,735,388 円	122.7%	
会員賃金	75,440,878 円	82,937,316 円	101,893,599 円	18,956,283 円	122.9 %	
手数料等	19,521,747 円	21,845,684 円	26,624,789 円	4,779,105 円	121.9 %	
※派遣事業収益	(9,106,900 円)	(9,641,500 円)	(11,643,500 円)	(2,002,000 円)	(120.8 %)	
就業実人員	141 人	149 人	184 人	35 人	123.5%	
就業延人員	18,625 人	20,235 人	23,659 人	3,424 人	116.9 %	
平均就業 日数	年	132.1 日	135.8 日	128.6 日	▲7.2 日	94.7 %
	月	11.0 日	11.3 日	10.7 日	▲0.6 日	94.7 %
月平均賃金	44,587 円	46,386 円	46,147 円	▲239 円	99.5%	

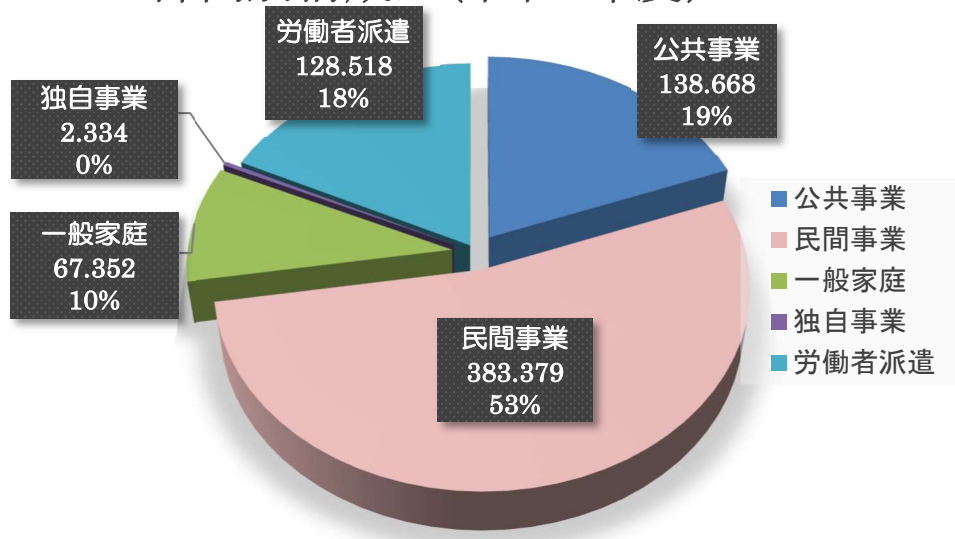
※派遣事業収益は、上段手数料等の内、兵庫県シルバー人材センター協会から入金された額

「請負・委任」＋「派遣」の合計事業高

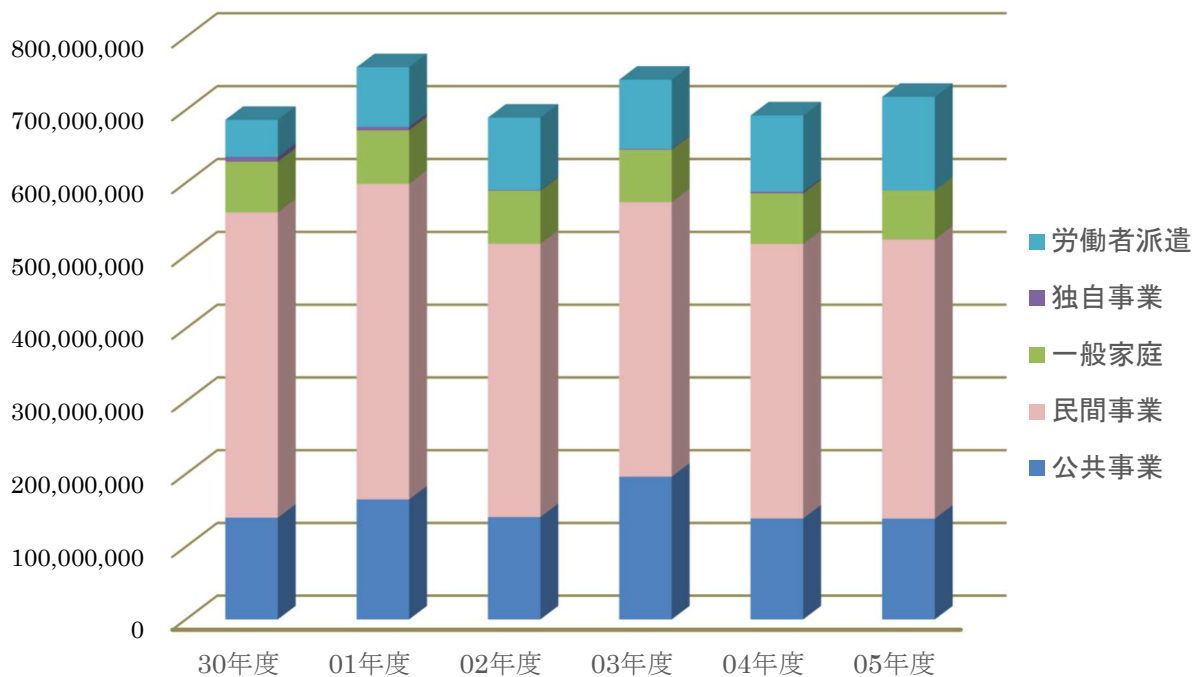
請負・委任・派遣を合わせた全体の事業高合計は、7億2,000万円で、年度目標の6億8,000万円を大きく上回り目標を達成しました。広報紙配布業務は減少しましたが、新規受注が増加し、前年度比約104.0%、約2,800万円の増となりました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比	
請負・委任	646,525,261 円	587,637,387 円	591,732,426 円	4,095,039 円	100.7%
派遣	94,962,352 円	104,783,000 円	128,518,388 円	23,735,388 円	122.7%
合計	741,487,613 円	692,420,387 円	720,250,814 円	27,830,427 円	104.0%

部門別構成比(令和5年度) (単位 千円)



事業実績年次推移



(2) 会員数

令和5年度末の会員数は2,273人で、前年度比101.5%となり、387人の新入会員に対し退会会員は354人で、33人の増加となりました。

会員増強委員会の頑張りにより、センターの紹介ビデオを作り直し、入会説明会の開催回数を増やすとともに、時間短縮と分かりやすい説明に努めたことにより、目標の2,300人に大きく近づくことができました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比	
入会者数	291人	377人	387人	10人	102.7%
退会者数	289人	336人	354人	18人	105.4%
増減	2人	41人	33人	▲8人	---
会員数	2,199人	2,240人	2,273人	33人	101.5%

会員数 男女内訳等

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比	
会員数	計	2,199人	2,240人	2,273人	33人	101.5%
		平均74.5歳	平均74.6歳	平均74.8歳	0.2歳	---
	男性	1,429人	1,439人	1,440人	1人	100.1%
		平均75.1歳	平均75.3歳	平均75.5歳	0.2歳	---
	女性	770人	801人	823人	22人	102.7%
		平均73.3歳	平均73.3歳	平均73.5歳	0.2歳	---
粗入会率		1.52%	1.53%	1.54%		

※粗入会率計算方法： 会員数÷市内60歳以上人口（14頁参照）

(3) 就業率

就業率は81%となり、前年度より就業実人員が73人増加し目標を達成しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比	
会員数	2,199人	2,240人	2,273人	33人	101.5%
就業率	80.6%	78.9%	81.0%	...	102.7%
就業実人員	1,772人	1,768人	1,841人	73人	104.1%
就業延人員	213,344人	191,546人	186,330人	▲5,216人	97.3%

※上記は請負・委任 + 派遣の合計額

2. 具体的な取り組み

(1) 会員拡大と就業意識向上への支援【会員増強委員会】

入会説明会を少人数にして開催回数を増やし、職員との面談を重視することで就業につなげた。また、出前説明会も実施した。

新入会員拡大

- ・ 出前説明会（4回開催） 参加者合計 128人
7月 山口地域 11月 鳴尾・鳴尾南・浜脇・津門今津地域
1月 甲東・瓦木地域 2月 夙川・中央地域
事前に募集チラシを対象地区に戸別配布し、12月には翔アップと募集チラシを同時配布
- ・ シルバー人材センター前掲示板に募集チラシ、ポスターを常時掲載
- ・ 市広報掲示板に「会員募集」ポスターを掲示 春・秋 各190枚
- ・ HPに入会希望者向けの説明会申込フォームを掲載、申込方法の選択肢を増やした。

入会説明会

- ・ 新たに作成したセンターの概要DVDを入会説明会で放映
- ・ 年間32回実施
- ・ 入会説明会での会員体験談発表を継続
- ・ 入会説明会の出席干渉のため、電話での事前出欠確認を継続

未就業会員への就業促進活動及び就業意識向上

- ・ 新入会員交流会を3ヵ月毎に開催。希望者には就業相談を実施（32人）

会員力の向上

就業につながる講習会の実施

- ・ 毛筆筆耕講習（12/13） 参加者 6人
- ・ パンク修理講習会（9/19） 参加者 9人
- ・ 料理教室（10/26） 参加者 23人
- ・ 清掃業務交流会（1/18） 参加者 8人
- ・ 着付け教室（12/13、1/24、2/28、3/27） 参加者 10人×4回

(2) 地域ニーズに応える就業開拓活動の推進【就業開拓委員会】

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、自粛していた事業所等の訪問活動の再開準備、特に会員の就業ニーズに対応する職種開拓に重きをおき準備を進めた。

事業所等訪問活動

- ・ 過去の訪問実績等を参考に、企業の業種、各種展示場、イベント等に分類し訪問先リストを準備
令和6年1月から訪問活動を開始
訪問先候補 約400ヵ所をリスト化

その他活動

- ・白水狭墓参バス利用者に、阪急西宮北口駅、市役所前で「お墓掃除」PR ティッシュの配布
夏：2日間（約400部）・秋：2日間（約400部）
- ・満地谷墓地参拝者に、「お墓掃除」PR ティッシュの配布
夏：2日間（約300部）・秋：2日間（約300部）

（3）健康で安全に就業できる環境づくり【安全・適正委員会】

会員の健康と安全意識向上のための啓発活動の推進

- ・就業に関わる事故に対して、「適正就業基準」及び「事故防止及び事故取扱基準」に則り、個々の事故の確認と検証を行った。
年間で傷害事故18件、賠償事故9件を検証（下表参照）
連続事故事案や賠償（物損）事故には面談を行い、再発防止に向けて注意した。
- ・交通安全講習会を実施 8月7日 兵庫県警STUS協力 20名参加
- ・シルバードライバーズスクール参加 9月25日サポカー乗車体験 25名参加
- ・令和5年度「チャレンジ100」（10月1日～1月8日）達成
会員及び職員10名が参加し、2年ぶりに無事故無違反を達成した。
- ・夏場の「熱中症アラート発令」に向けて就業基準を設け実施 8月7日から
- ・救命講習会を実施 3月1日 心肺蘇生とAED操作体験 19名参加
- ・安全パトロールを実施 4月～3月：5回(5箇所)
除草・剪定現場を対象に、点検リストに沿って安全基準の遵守状況を確認した。
- ・月報に健康・安全に関する啓発記事を掲載
 - 4月号 令和5年度全シ協「安全就業スローガン」会員応募作品3点を選定
 - 8月号 熱中症に注意
「熱中症警戒アラート発表中」の就業基準のお知らせと「熱中症」の予防
 - 9月号 8月7日交通安全講習会実施報告と「秋の全国交通安全運動」のチラシ同封
 - 10月号 新型コロナ感染症に注意
9月25日シルバードライバーズスクール参加、サポカー乗車体験
 - 11月号 兵庫県 自転車用ヘルメット購入補助のキャンペーン紹介
 - 12月号 適正就業基準の改正内容の紹介
自転車用ヘルメット購入時の補助について申請方法の紹介
 - 1月号 安全適正委員会の委員と活動内容を紹介
冬場の健康管理の注意点について
 - 2月号 救命講習会の案内。事故後のヒヤリングへの協力依頼
5年以上の就業者に対する後継会員への交替について予告案内

3月号 3月1日「救命講習会」の再開
2023年度チャレンジ100達成
就業が5年を迎える会員へのお知らせ

- ・傷害事故及び賠償(物損)事故発生状況

令和5年度：傷害事故18件、賠償(物損)事故9件発生

傷害事故	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度増減
就業中	10件	5件	11件	6件
就業途上	2件	9件	7件	▲2件
(内自転車)	(2件)	(2件)	(5件)	(3件)
合計	12件	14件	18件	4件
賠償事故	1件	8件	9件	1件

前年度に比べ傷害事故は増加(14件→18件)、うち「転倒」による事故は10件と多い。賠償事故も増加(8件→9件)

適正就業への取り組み

- ・事務局と連携し、長期就業者の実態調査を行った。
令和5年度の就業状況を把握し、長期就業者の対応策を検討した。
- ・適正就業基準を改定し、令和6年4月1日から長期就業者の交代を推進することとした。
- ・5年超就業会員への円滑な交代準備を進めた。

(4) 地区地域班活動の活発化【地区活動委員会】

地区地域班活動の活発化

- ・リーダー・サブリーダー会議や広報紙配布責任者会議において、地区間の課題整理と、事務局と地区との連携強化に努めた。
リーダー・サブリーダー会議 8月3日、11月2日、2月2日
広報紙配布責任者会議 7月18日、12月19日
- ・9地区の地区役員会に順次出席し地区役員との意見交換をした。
11月11日、11月14日、12月22日、1月10日、1月27日、
2月7日、2月19日、3月11日、3月21日

広報紙配布業務の課題整理

- ・配送業務は市の入札により新たな民間業者に委託することになったが、配布物の受取方法も概ねスムーズに行われた。
- ・広報紙配布業務は発注者から高い評価を得る中で円滑に実施できた。

- ・下記の広報紙を地区地域班、配布会員、仕分け梱包会員、配布センター関係会員約 700 人の連携と努力により配布した。

市政ニュース	年間 23 回	
市議会だより	4 回	広報紙配布事業高
社会福祉協議会広報紙「しあわせ」	4 回	88,629,650 円
選挙公報紙	3 回	
その他スポットチラシの配布	3 回	

公園パトロール

地域の子供たちが遊ぶ公園遊具の安全を確保するために、市内全域約 566 ヲ所の公園で、遊具の等の安全点検業務を実施した。

合同清掃ボランティア

- ・10 月 21 日 参加者 246 名
可燃ごみ 26 袋 (90ℓ)、不燃ごみ 7 袋 (45ℓ) を収集

地区地域班での会員相互の交流と親睦

- ・班交流会や女子会などコロナ禍後の新たな取り組みが試みられている。地区役員の努力で、地区だよりの発行が各地区内での重要な情報交換の場となっている。

他委員会との協議連携

- ・イベント推進委員会 とグラウンドゴルフ開催 (11/16) に向けての協議を行った。

(5) 組織活動の活発化【イベント推進委員会】

会員及び市民に開かれたイベント開催を目指し、積極的に取り組んだ。各種講座については、「楽しく・ためになる」をモットーに開催した。

開催したイベント・講座

月 日	イベント・講座	参加人員	備 考
4 月 8・9 日	カフェ・ド・ヒロタ	来場者 168 名	広田山荘
4 月 18 日	第 2 回グラウンドゴルフ 大会	43 名	中央運動場
5 月 22 日	インクカートリッジ& ベルマーク寄贈	会員多数から 収集	大社小学校へ寄贈
5 月 22 日	第 1 回健康マージャン講座 (月 1 回)	15 名	広田山荘
7 月 14 日	楽しくエアロ (月 1 回)	12±名	中市民館
8 月 22 日	こども工作教室	20 名	センター
9 月 6 日	お月見コンサート&観月会	32 名	広田山荘

10月16日～22日	会員作品展 作品出展者 33名	451名	北口ギャラリー
10月23日	第2回目健康マージャン 講座 (月1回)	16名	広田山荘
11月16日	第3回グラウンドゴルフ 大会	43名	中央運動場
1月18日	シルバーフェアー ボラン ティアスタッフ 135名	来場者 1,300名	六湛寺公園
11月28日	ヒロタ de うたごえ(月1回) コロナ5類により再開	12名	広田山荘
12月3日	こども将棋大会	17名	広田山荘
1月30日	ヒロタ de うたごえ	23名	広田山荘
1月30日	インクカートリッジ&ベル マーク寄贈	会員多数から 収集	浜脇小学校へ寄贈
3月3日	能登半島地震災害駅前募金 活動	阪神西宮 6名 西宮北口 8名	阪神西宮 西宮北口・事務所 募金総額 75,118円

コロナ禍等により、開催できなかったイベント等

- ・研修バスツアー
- ・ぴよぴよサロン

社会貢献活動の継続

- ・インクカートリッジ&ベルマークの収集と寄贈
5月22日 大社小学校に寄贈
1月30日 浜脇小学校に寄贈

(6) 情報発信の強化【広報委員会】

会員向け及びセンターの認知度向上のため積極的な広報活動に取り組んだ。また、「地区便り」発行に支援を行った。

センターの認知度向上のため、多様な広告媒体を活用してPR活動を行った。

会員向け情報受発信

- ・月報「いきいき通信シルバーにしのみや」を毎月発行した。
- ・センターから会員向け情報を適宜発信した。
- ・国の補助金を活用し、会員向けにスマートフォン基礎講座を市内9地区に出向いて実施した。
- ・毎週火曜日にセンターにてスマホ相談会を実施した。
- ・会員向けインターネット専用サイト(Smile to Smile)を活用し情報及び配分金明細の提供を開始した。

対外広報活動

- ・市民、事業所を対象にセンターのPR紙「翔アップ」の発行を継続、市内全域に配布した。
- ・市内190カ所の市掲示板に「会員募集」ポスターを作成し掲示した。
- ・センター前の掲示板を活用し、市民向けに季節のイメージを取入れた情報発信を行った。
- ・市内の路線バス1台の側面にラッピング広告を施し、シルバー人材センターのPRを図った。
- ・業務用車両2台に、シルバー人材センターのPRをラッピングし、知名度アップを図った。
- ・阪神西宮駅の東側駅舎内支柱の電光広告を活用して、シルバー人材センターのPRを行い、知名度アップを図った。

(7) 会員への就業提供の推進【就業拡大チーム】

就業相談会を毎週月曜日に定例開催し、未就業会員の減少に努めた。
新型コロナウイルス感染症の影響が収まってきたため、4月から相談会を継続して開催した。

未就業会員への就業提供の推進

- ・月報の「お仕事案内」を利用し、就業相談への参加を呼びかけた。
- ・定例就業相談会
実施期間 : 毎週月曜日午後
相談者 : 61名(昨年66名)
内5年度新会員 19名(男性10名 女性9名)
就業確定者 : 26名(男性16名 女性10名)
内5年度新会員 8名(男性5名 女性3名)。
内4年度の入会会員 32名(男性19名、女性13名)、
就業確定者 16名(男性9名 女性7名)

(8) 組織活動の活発化【理事会】

理事会、委員会、事務局が連携して事業運営を行った。
長期就業事案及び会員の就業機会の拡大についての検討を行い、関連委員会へ課題解決を依頼した。
インボイス制度及びフリーランス新法への対応について研究・協議を行った。

委員会活動

- ・各委員会とも新型コロナウイルス感染症の影響の残る中、年度目標に向け可能な

範囲の活動、取組みを実施した。

- ・安全・適正委員会を中心に、長期就業事案解消について具体の検討案を検証した。

財政体質の強化

- ・不要不急な支出は行わず、公益法人に相応しい適切な支出に努めた。

関係団体との連携

- ・兵庫県、西宮市、全シ協、兵シ協、近隣シルバー、社会福祉協議会など関係機関との連携に努めた。
- ・先進シルバーの情報収集を行った。

(9) 事務の効率化と職員の人材育成【事務局】

(公社) 兵庫県シルバー人材センター協会と連携した事業

派遣事業への取り組み

- ・新規受注は、請負か派遣かを見極め適正就業となるよう契約推進に取り組んだ。

有料職業紹介事業

- ・令和5年度も有料職業紹介に至るまでの相談事例はなかった。

効率的かつ適正な事務局業務の推進

- ・兵シ協並びに阪神ブロック（8市1町）の各シルバー事務局と随時、事務局業務について情報交換を行った。
- ・全シ協、兵シ協が実施した研修会等に参加し、事務能力の向上に努めた。
- ・就業相談会及び入会説明会での個別面談の実施
就業拡大チームと事務局職員が連携し、就業相談会を継続及び随時に実施した。

(11 頁参照)

また、会員増強委員会との連携で入会説明会参加者に個別就業面談を行った。

- ・長期就業事案の調査、課題解決に向けた具体の検討を進めた。

理事会、委員会、地区地域班との連携強化

- ・理事会、委員会への支援を行った。
- ・地区地域班活動に、随時支援を行った。
- ・兵シ協事務局長会議、担当職員会議、阪神ブロック会議にリモートで出席し、情報収集と連携を図った。

インボイス制度への対応

- ・令和5年10月からスタートしたインボイス制度に対応した会計処理を行った。
- ・制度の特例的措置を、市長会、副市長会へ引き続き要望した。

特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律(フリーランス新法)の研究

- ・兵シ協の指導の下、研究に取り組んだ。

会員向けインターネット専用サイト (Smile to Smile) による情報発信

- ・会員への情報発信のデジタル化に向け、デジタル化整備促進チームと連携し、各地区に出向きスマホ講座を開催した。